

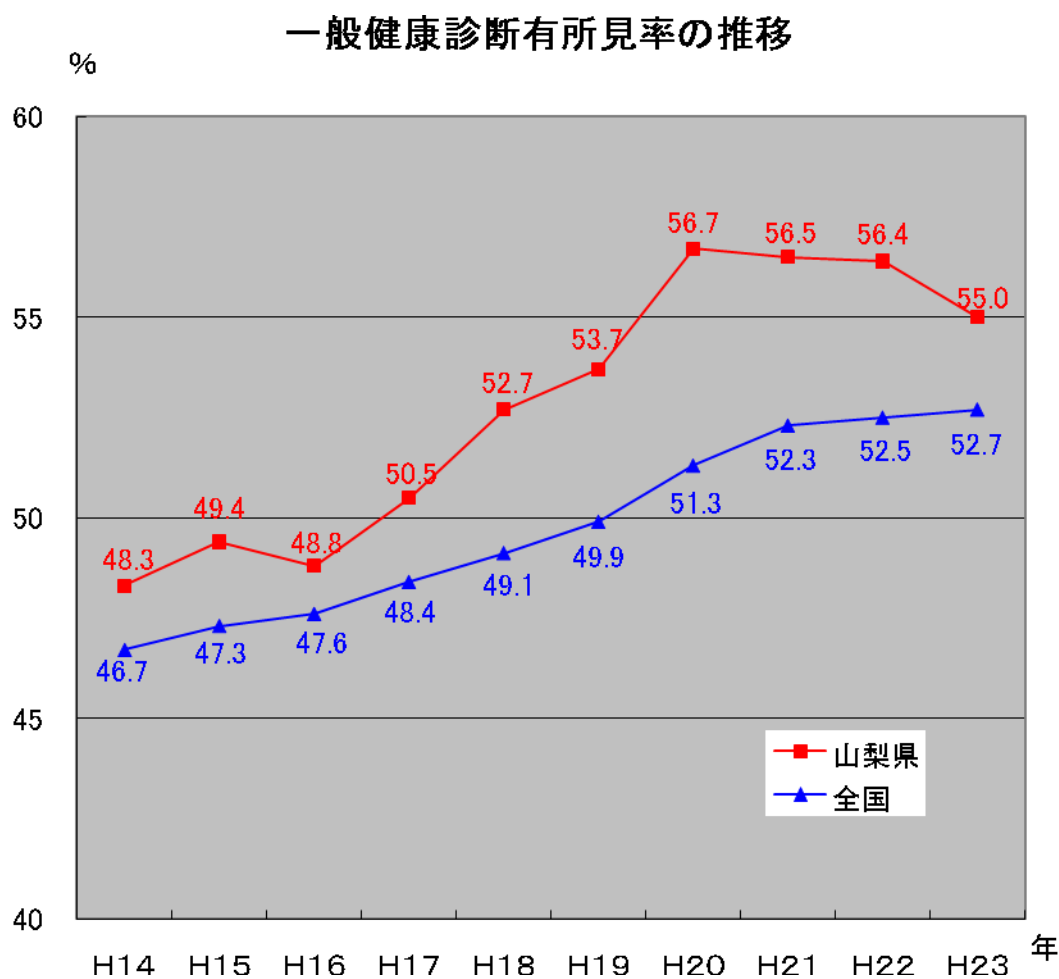
平成23年 健康診断実施結果

- 1 [一般健康診断有所見率の推移](#)
- 2 [一般健康診断有所見率の検査項目別比較](#)
- 3 [一般健康診断有所見率の業種別比較](#)
- 4 [平成22年一般健康診断実施結果](#)
- 5 [特殊健康診断有所見率の推移](#)
- 6 [特殊健康診断有所見率の対象作業別比較](#)
- 7 [じん肺健康診断有所見率の推移](#)

1 一般健康診断有所見率の推移

一般健康診断における有所見率は、全国・山梨県内ともに50%を超えているが、全国は高止まりで、山梨県内は減少傾向にある。

山梨県内の有所見率は、平成14年に全国平均を上回り、平成17年には50%を超えた。平成23年は前年と比べ減少し55.0%となっている。



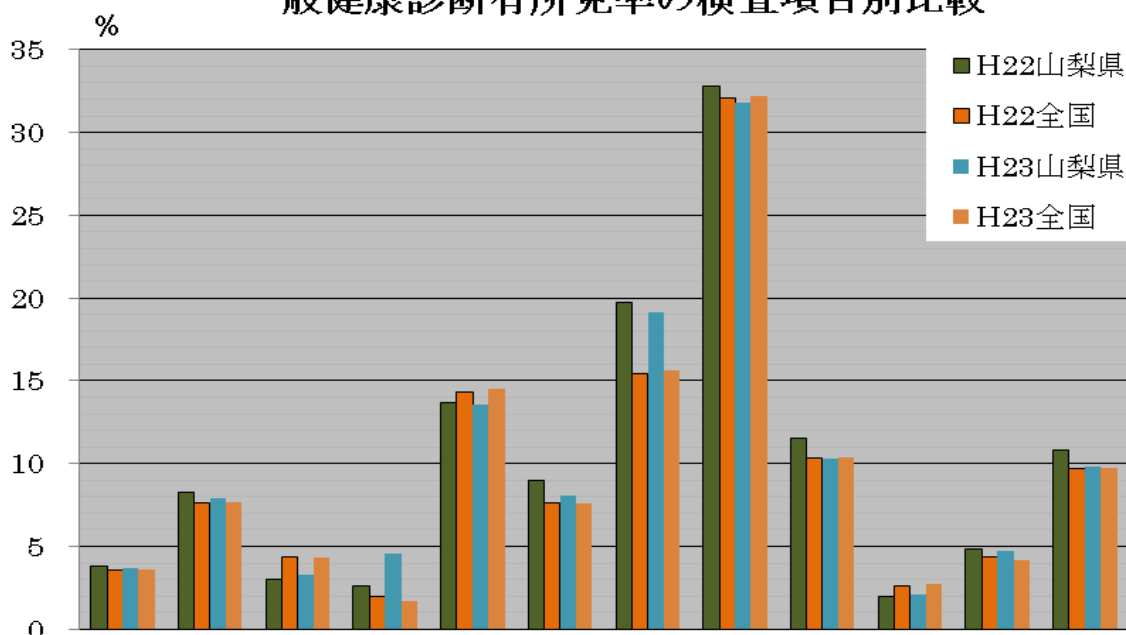
(注) 定期健康診断結果報告書(規模50人以上)の集計結果による。(以下3まで同じ)

2 一般健康診断有所見率の検査項目別比較

山梨県内の検査項目別の有所見率を高い順にみると、血中脂質検査(31.8%)、肝機能検査(19.1%)、血圧(13.6%)、血糖検査(10.3%)、心電図検査(9.8%)の順となっている。特に、血中脂質検査の有所見率は全国・山梨県内とも30%を超えている。

平成23年と22年を比較すると、喀痰検査の有所見率が2.0ポイント上昇した一方、血糖検査の有所見率が1.2ポイント、血中脂質検査の有所見率が1.0ポイント低下している。全国と比較すると、肝機能検査、喀痰検査の有所見率について山梨県内の方が特に高い。

一般健康診断有所見率の検査項目別比較

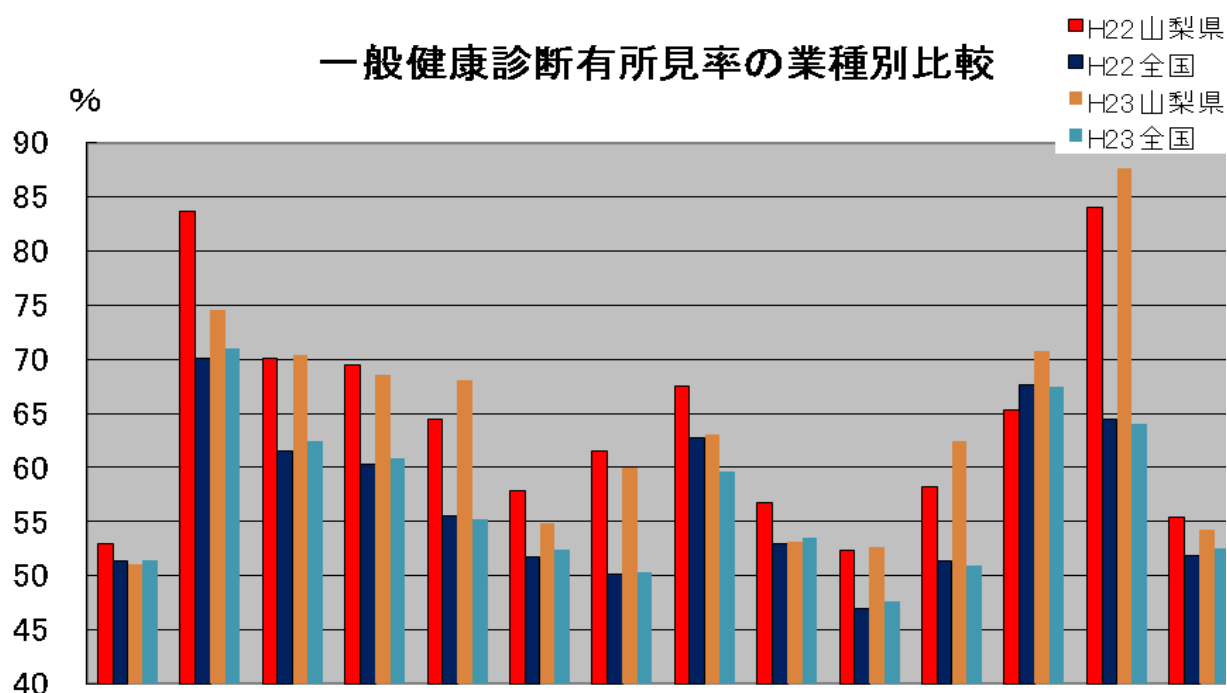


	聴力 1000 Hz	聴力 4000 Hz	胸部 X線 検査	喀痰 検査	血圧	貧血 検査	肝機能 検査	血中脂 質検査	血糖 検査	尿 検査 (糖)	尿 検査 (蛋白)	心電図 検査
H22山梨県	3.8	8.3	3.0	2.6	13.7	9.0	19.7	32.8	11.5	2.0	4.8	10.8
H22全国	3.6	7.6	4.4	2.0	14.3	7.6	15.4	32.1	10.3	2.6	4.4	9.7
H23山梨県	3.7	7.9	3.3	4.6	13.6	8.1	19.1	31.8	10.3	2.1	4.7	9.8
H23全国	3.6	7.7	4.3	1.7	14.5	7.6	15.6	32.2	10.4	2.7	4.2	9.7

3 一般健康診断有所見率の業種別比較

山梨県内の業種別の有所見率を高い順にみると、官公署(84.0%)が最も高く、次いで、鉱業(83.7%)、建設業(70.1%)、運輸交通業(69.5%)、通信業(67.5%)の順となっている。

平成22年と21年を比較すると、官公署では17.5ポイント、運輸交通業では13.5ポイント上昇した一方、清掃・と畜業では8.4ポイント低下している。全国と比較すると、官公署では19.6ポイント、鉱業では13.6ポイント、建設業、運輸交通業、貨物取扱業、金融・広告業では約10ポイント山梨県内の方が有所見率が高い。



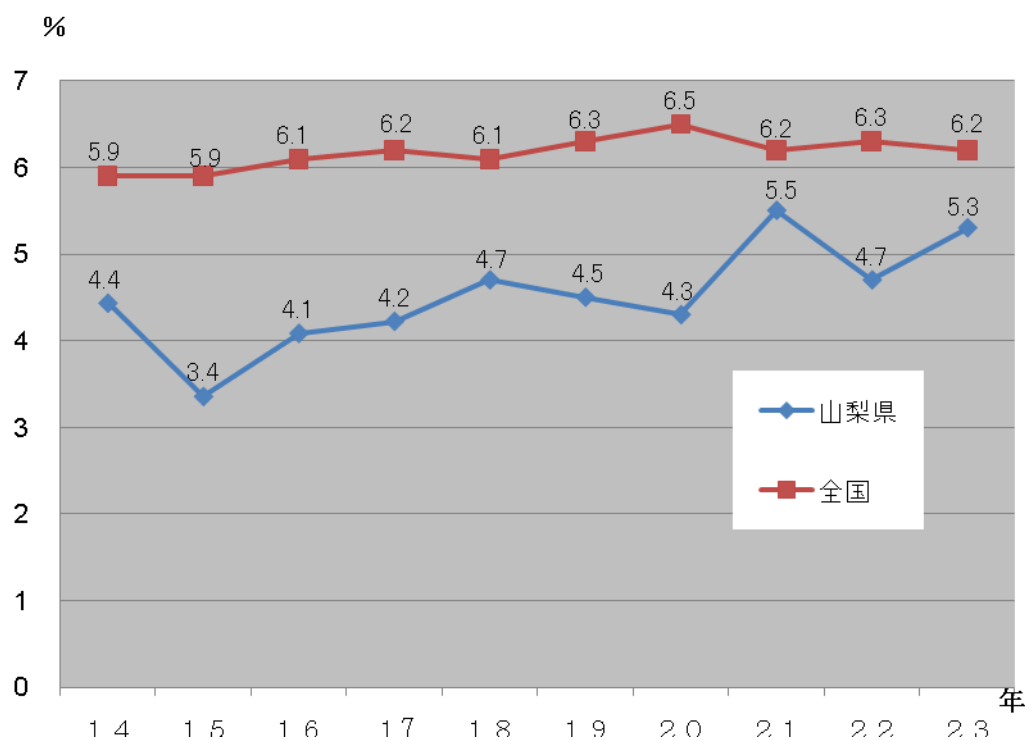
	製造業	鉱業	建設業	運輸交通業	貨物取扱業	商業	金融・広告業	通信業	教育・研究業	保健衛生業	接客娯楽業	清掃・と畜業	官公署	その他の事業
H22山梨県	53.0	83.7	70.1	69.5	64.5	57.9	61.5	67.5	56.8	52.3	58.2	65.3	84.0	55.4
H22全国	51.4	70.1	61.5	60.3	55.5	51.8	50.2	62.7	53.0	47.0	51.4	67.6	64.4	51.9
H23山梨県	51.1	74.5	70.4	68.5	68.1	54.9	60.0	63.0	53.2	52.6	62.5	70.7	87.6	54.3
H23全国	51.4	71.0	62.5	60.9	55.2	52.4	50.3	59.6	53.5	47.6	50.9	67.4	64.0	52.5

5 特殊健康診断有所見率の推移

特殊健康診断における有所見率は、全国・山梨県内ともに概ね横ばいの状況が続いており、全国で6%前後、山梨県内では4～5%台となっている。

山梨県における有所見率は、全国と比べ、1～2ポイント低い状況が続いており、平成21年にその差は縮小し5.5%、平成23年は全国より0.9ポイント低い5.3%となっている。

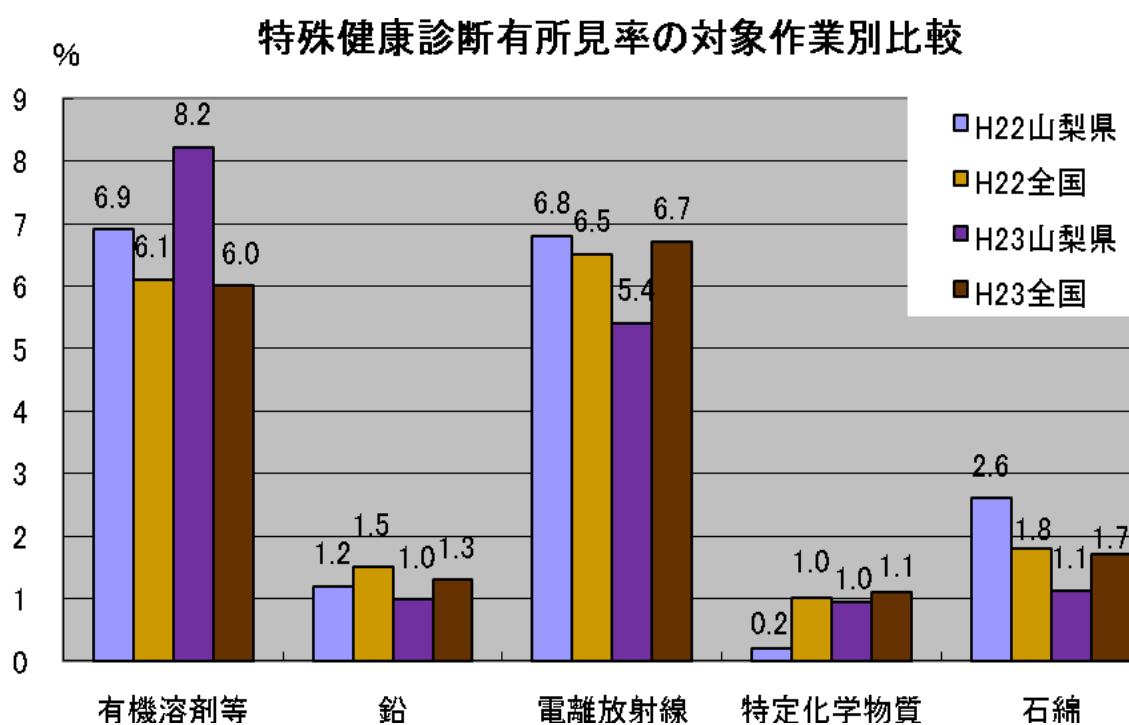
特殊健康診断有所見率の推移



(注) 各特殊健康診断結果報告書の集計結果による。(以下6まで同じ)

6 特殊健康診断有所見率の対象作業別比較

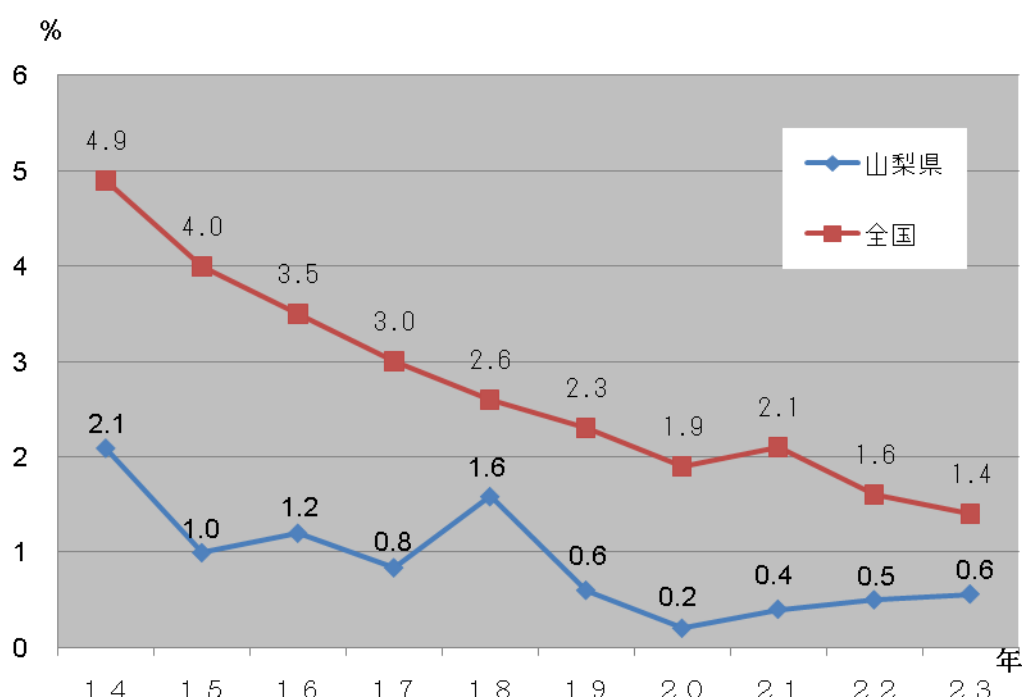
特殊健康診断における有所見率を対象作業別にみると、全国・山梨県内ともに有機溶剤等及び電離放射線の有所見率が高く、概ね6%以上となっている。平成23年と22年の山梨県内の有所見率を比較すると、有機溶剤等が1.3ポイント上昇した一方、電離放射線が1.4ポイント、石綿が1.5減少している。



7 じん肺健康診断有所見率の推移

じん肺健康診断における有所見率は、長期的には減少傾向にあり、全国では2%を下回っている。山梨県内についてみると、従前から全国と比べ有所見率は低く、近年は1%未満で推移しており、平成23年は前年と比べわずかに増加したものの、0.6%となっている。

じん肺健康診断有所見率の推移



(注) じん肺健康管理実施状況報告の集計結果による。